

賴支峰 以嶽 齋者。文政六年十一月六日生れ。明治二十一年七月八日歿（八三一九）。諱復、字士剛、通稱又二（次）郎。別號支峰閑人、穆庵、迂亭。賴山陽の弟子。牧百峯の學心、嘉永二年昌平坂學問所に入る。明治元年大學二等教授、大學少博士、四年辭官。

著書、草場廉著『皇朝歴代歌』（賴復名、校、明治七年一月耕讀樓藏

版、京都・藤井卯兵衛發兌）、増補『日本外史』（賴又二郎名、明治十

年一月賴氏藏版、京都・田中本行藏門和田治郎共衛發兌）、岡田茂兵衛『標註日本外史』全一

十二冊（同、標註圖記、雲谷任齋校、明治十年十月京都・自版）、賴

襄子成詮選『古今文典』全二冊（賴復士剛名、共校、明治十四年十一月

月八日藤田榮次郎藏版、十五年二月安田恒太郎發兌）、『支峰先生遺

印譜』（明治二十一年八月、二十五日京都・賴龍二刊）等。